

**NEWS RELEASE** www.jogmec.go.jp

独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

問合せ先： 備蓄企画部企画課 宮沢 TEL:03-6758-8033  
広報担当： 総務部広報課 乾 TEL:03-6758-8106**上五島国家石油備蓄基地における****平成 29 年度長崎県石油コンビナート等総合防災訓練の実施について**

JOGMEC(本部:東京都港区、理事長:黒木啓介)が国から委託を受けて管理している上五島国家石油備蓄基地(長崎県新上五島町)において、11月9日(木)平成29年度長崎県石油コンビナート等総合防災訓練が実施されました。

本訓練は、長崎県石油コンビナート等防災計画に基づき、石油コンビナート等特別防災区域(上五島地区)における「油流出、タンカー火災等の災害」が発生した場合を想定し、緊急連絡および応急対策の迅速、円滑な実施ならびに防災関係機関、特定事業所員の防災意識の高揚を図ることを目的としています。

訓練は、「当日午前 10 時、長崎県北部を震源とする地震が発生し、新上五島町では強い揺れ(震度 6 弱)を観測、長崎県西方沿岸に津波注意報が発表された。原油積載のタンカーがシーバースに接岸し荷役中のところ、この地震によりローディングアームに亀裂が入り、大量の原油が海上に流出し、作業員 1 名が海中に転落した。タンクヤードにおいても、擁壁面の崩落により原油送管および流出油防止堤に亀裂が生じ、原油が流出した。さらに、事業所の管理棟屋上入口ドアが開閉不能となり、屋上で作業中の作業員数名が取り残された。火気使用中の管理棟から出火し、職員数名が逃げ遅れた。海上では、ローディングアームからの漏油はタンカーの甲板にも落下し、タンカーの中央部で火災が発生した。」との想定で実施されました。

当日は、訓練実施防災関係 15 機関(参加人数 238 名)による、通報・初動措置活動訓練、緊急出動訓練、情報伝達訓練、消火、救出・救護訓練、流出油拡散防止・回収作業訓練、船舶火災消火訓練および海中転落者の捜索・救助訓練等が実施され、午後 12 時 20 分、訓練は無事全日程を終了しました。

**【上五島国家石油備蓄基地の概要】**

同基地は、世界で初めて洋上タンク方式を採用した原油備蓄基地として、昭和63年9月に完成。

防波堤により平穏な泊地を確保し、貯蔵船5隻を並列に配置し各貯蔵船を防油堤で囲むもので、貯蔵船1隻あたりの貯油能力は88万kl(5隻合計で440万kl)です。

平成29年10月末現在、約342万klの原油が保管されています。

[http://www.jogmec.go.jp/about/domestic\\_007-07.html](http://www.jogmec.go.jp/about/domestic_007-07.html)



開式・訓練実施15機関



流出油拡散防止・回収作業訓練



油流出・着火防止訓練 土嚢構築



油流出・着火防止訓練 泡水溶液放出



屋上からの救出・救護活動訓練



厨房からの消火・救出・救護訓練



海中転落者捜索・救助訓練



船舶火災消火訓練 一斉放水